



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

緩和ケア研修会を開催しました

令和3年12月12日(日)に緩和ケア研修会を開催しました。ファシリテーターに、ケアビレッジ箱根崎の小林秀正先生、荒尾市民病院の佐藤伸隆先生をお招きし、当センターから参加した外科医の織田、社会福祉士の福島の計4名で講演などを行いました。当研修会は、がん等の診療に携わる全ての医師・歯科医師、緩和ケアに関わる医療従事者の方に基本的な緩和ケアについて正しく理解し、緩和ケアに関する知識、技術、態度を修得することで緩和ケアが診断の時から、適切に提供されることを目的とした研修会です。

研修当日は、外部からの参加者3名を含む医師、看護師、コメディカルなど18名の参加がありました。研修の最初にアイス・ブレイキングを行い参加者同士の緊張をほぐし、研修中に役職を意識しないようお願いを「さん付け」で呼び合うというルールを守るようお願いしたうえで、グループ演習やロールプレイとい



緩和ケア研修会の様子(ロールプレイ)

った実践的な研修を行いました。グループ演習では事例検討として、掲げられた課題について、どのように取り組むべきかなどをグループ内で話し合い、ホワイトボードへまとめたものを発表していただきました。ロールプレイでは、がんを告知する医師役、がんを告知される患者役、観察者役を設定し、実際ががんの告知を行う場面を再現することで、がん診療の難しさや患者さまの気持ちに寄り添う姿勢等について体験していただきました。

今回は第1回ということもあり、主な参加対象を当センター職員に絞っての開催となりましたが、今後は熊本県指定のがん診療連携拠点病院として、鹿本圏域でがん診療に携わる全ての医療スタッフに広く受講していただけるよう、当研修会を定期的で開催して行きたいと存じますので、皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

(文責：診療部外科医長 織田 枝里)



緩和ケア研修会の様子(グループ演習)

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

緩和ケア研修会を開催しました.....	P 1
部門紹介.....	P 2
医療最前線.....	P 3
外来担当医表(2月).....	P 4

眼科からのお知らせ

「テガフル・ギメラレシル・オテラシルカリウム配合剤」の眼副作用に対する取り組み

当センターは、がん診療連携拠点病院として、がん診療に力を注いでおります。がん診療に用いられる抗がん薬は、がん細胞だけでなく、他の健康な細胞にも影響(副作用)が生じることが知られております。眼科領域でしばしば見かけることが多いものとして、胃癌や大腸癌の治療に用いられる「テガフル・ギメラレシル・オテラシルカリウム配合剤」(以下「S-1」という。)による、角膜障害と涙道障害が知られております。角膜障害と涙道障害のメカニズムは下記の通りです。

○角膜障害の原因

S-1が血液中から涙液に移行、直接的に角膜上皮にダメージを与えます。またS-1により角膜上皮の再生に関わる角膜上皮幹細胞の増殖と角膜上皮基底細胞の分裂が抑制され、角膜上皮障害が治りにくくなります。

○涙道障害の原因

血液中から涙液に移行したS-1が涙道を通ることで、涙道内腔上皮が肥厚化し間質の線維化することが原因と言われております。

下の画像は、角膜をフローレス眼検査用試験紙で染色し、ブルーフィルターを通して撮影することで角膜の傷を分かりやすくしたものです。図1は濃青



図1(傷のない角膜)

色の角膜が見えます。これは角膜に傷がないため何も染まっておりません。図2は角膜中央から上方にかけて染まっており、ざらついた角膜上皮障害を認めます。

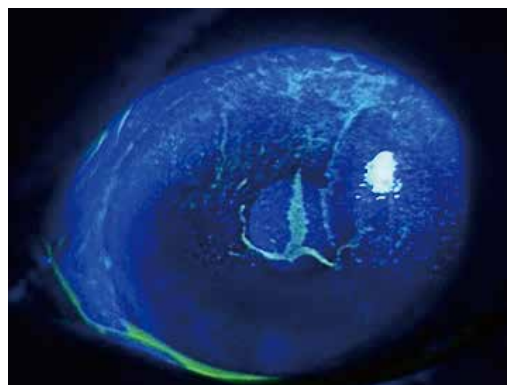


図2(角膜上皮障害を認める角膜)

私たち眼科では、S-1による眼副作用に対して治療を行っております。さらに2021年からは眼科医と視能訓練士がS-1内服患者さまに眼副作用の情報提供を行い、さらに副作用を予防するため、涙液内のS-1濃度を下げる効果をねらい、洗眼液の頻回使用を勧めております。

実際には、S-1投与前の角膜や涙道の状態を診させていただいた後、S-1投与開始とともに事前購入した洗眼液を頻回に使用していただきます。さらに点眼後は眼周囲を濡れたままにしておきますと、眼周囲の皮膚に障害が起こる可能性がありますので、必ず点眼後は綺麗に拭き取っていただくように説明しております。

しかしながら、それでも角膜が障害された場合は、点眼薬による対処療法を行っております。

このように当科では、少しでもS-1の副作用を予防または軽減することで、患者さまの眼副作用に対する不安を和らげ、がん治療に専念出来るように務めてまいります。

(文責：視能訓練士 花田 正和)

医療最前線 (138)



消化器内科

上野 茂紀 先生

便秘薬について

今回便秘薬についてまとめようと思います。

便秘の定義は「本来体外に排出すべき糞便を、十分量かつ快適に排出できない状態」とされています。従来の浸透圧性下剤であるマグミット、刺激性下剤であるセンノシド（アローゼン）は薬価も安く効果も期待できるため広く使われてきましたが、マグミットは腎機能の低下例には使いにくく、センノシドは習慣的な使用で耐性が生じやすいところが問題でした。

1980年に刺激性下剤であるラクソベロンが発売されました。センノシドとおなじ刺激性下剤ですが、センノシドほどは耐性ができにくいようです。その後、長年新規薬剤はでていませんでしたが、ここ数年で、新しい便秘薬が相次いで登場しています。作用機序が従来の薬剤と異なるため頑固な便秘の改善も期待できます。

2012年にはアミティーザカプセル、2017年にはリンゼスが登場しました。どちらも上皮機能変容薬といわれるタイプの薬剤で腸管上皮細胞に作用し腸管内の水分量を増やし便を軟化させる効果があります。アミティーザは安全性が高く長期投与に伴う副作用が少ない薬剤です。リンゼスは当初は便秘型過敏性腸症候群の病名がないと使用できませんでした

が、現在は便秘症の方に使用できます。内臓痛覚神経線維にも作用し痛みや不快感を改善すると言われており今までにない特徴をもっています。

2018年にはグーフイス、モビコールが出現しました。グーフイスは胆汁酸の回腸での再吸収をふせぐため大腸に胆汁酸の流入が増加します。効果としては、大腸内の水分分泌促進と消化管運動の促進が期待でき、両方の効果が期待できる初めての薬剤となりました。

モビコールは大腸検査前の腸管洗浄薬として使用されていましたが便秘に対しても使用できるようになりました。腸管で吸収されないため大腸での便中水分量の増加で便が軟化します。また、便容積の増大から大腸へ刺激となりこちらも蠕動運動促進の効果もあります。

次に下に薬価を並べてみます。

酸化マグネシウム	1錠5.6円	1日3回	16.8円/日
センノサイド	1錠5円	1日2錠	10円/日
アイティーザ	1cap123円	1日2錠	246円/日
リンゼス	1錠90円	1日2錠	180円/日
グーフイス	1錠105円	1日2錠	210円/日
モビコール	1包84円	1日2包	168円/日

やはり基本的にはマグネシウムを使用する感じになりそうです。センノシドは屯用まででおさえておきたいところではあり、毎日使わないといけないような場合は、新規薬剤を併用するなどをお勧めします。

原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

外来担当医表

2月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※御任 玲美	※猪山 慎治	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	上野 茂紀 (本原 利彦)	富口 純	本原 利彦	富口 純 (上野 茂紀)	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	※1 中嶋 直也 担当医 (予約のみ)	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 荒木崇士/中原達秀	工藤 智志 荒木 崇士 中原 達秀	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 赤星 慎一 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一 (織田 枝里)	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一 山村 謙介
乳腺外科	—	※末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※非常勤医師	—	※非常勤医師	—
小児科	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)	※石井 真美 9:00~16:30まで 予防接種(午後)	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)
セ ン サ ー タ イ 器	耳鼻咽喉科	—	※非常勤医師	—	※非常勤医師
	眼科	木山 優	木山 優	木山 優	木山 優
産婦人科	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗
	※片渕美和子(午後) 2/1(火)、8(火)、10(木)、15(火)、22(火)、24(木)				
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介	消化器科医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 上野 茂紀	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 上野 茂紀	豊永 政和 上野 茂紀

◎診療時間は8:30開始で11:00(小児科は16:00)受付終了となります。
 当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。
 ※ 非常勤医師です。 ※1 第2、第4水曜日のみ診療となります。

特殊・専門外来

2月

名称	担当医等	実施日	診察場所
緩和ケア外来(予約制)	織田 枝里	毎週 月曜・水曜 (11:00~12:00)	Bブロック
外来化学療法(予約制)	担当医	毎週 火曜・水曜・金曜	各診療科
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜 (午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜 (午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜 (受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜 (午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片渕美和子	2/1(火)、8(火)、10(木)、15(火)、22(火)、24(木)	
PEG外来	担当医	毎週 第2・4水曜 (午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日 (13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
 ◎急患の場合は、この限りではありません。
 ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。
 ◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

 **山鹿市民医療センター**
 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
 TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>